

元気いっぱい！ ごかっ子情報



町内の小・中学校で行われた取り組みや行事などを紹介します。
今月は、五霞東小学校を紹介します。

「上手な話の聴き方」

①ソーシャルスキルトレーニング

人の話をきちんと聴くことは、意外と難しいことです。人の話をしっかりと聴くことができないと、学習も友達関係も成り立ちません。授業中であれば、よそ見などをしているれば、先生に話を聴くように注意してもらえますが、友達同士では、聴き方が悪いと、相手がむっとしたり、言い合いになったりするかもしれません。相手を大切に、上手に話が聴けると人間関係も円滑になります。

低学年から、それぞれの発達段階に合わせて、話の聴き方をまずは、「型」として、しっかりと定着させていきたい



と考え、全学年、全クラスで「上手な話の聴き方」の学習をしました。

「上手な話の聴き方のポイント」

- ①【相手に体を向ける】
- ②【話す人を見る】
- ③【あいづちをうつ】
- ④【くり返す】
- ⑤【質問をする】

この5つを意識しながら、話の聴き方の練習をしました。



まずは、「気持ちのよいあいづち」について、全員で考えました。「へー、すごいね。」「そうなんだ、それで？」と、相手が話しやすい『あいづち』を上手に使うと、話もよく聴けるし、相手も話しやすいことに気が付き

ました。次に、お話しシートを使って、二人組でロールプレイで話をしました。聴く人は、上手にあいづちをうつ、うなずきながら話を聴きました。高学年では、「うなずきね。」と繰り返したり、質問をしたりできるようにしました。

授業後の子どもたちの振り返りは次のとおりです。

○わたしが話をすると、友だちが「うんうん」とあいづちをしてくれて、すごくうれしかったです。これからは、わたしも、うなずきながら話をききたいです。
(低学年)

○あいてに体をむけて、あいづちを見て、うなずきながらきくと、あいても自分もたのしくなります。人の話は、うなずきながらききたいです。(低学年)

○上手に話を聴くと、楽しくなったり、うれしくなったり、仲よくなったりする感じがしました。これからは話の聴き方を気をつけます。
(中学年)

○くり返してもらったり、あいづちを打ってもらえると、楽しくなってきた感じができました。(中学年)

○上手に話を聴いてもらえること、安心して話ができると、心のもったあいづちも、とても話しやすくなることに気がきました。(高学年)

○話を聴いてくれる相手が、質問をしてくれたりくり返したりしてくれると、自分の話を聴いてくれるんだな、と心が温かくなりました。(高学年)

相手の話を大切に聴いてくれるよう、今後もこのような取組を続けていきたいと思っています。

